

タイ国政府観光庁を東北絆まつりに招待しました（6月17日～18日）

タイ国政府観光庁（TAT）と東観推および仙台市は「観光に関する相互協力協定」を締結しており、これまで相互交流の促進に向けた連携を行ってきました。先般、青森市で開催された「東北絆まつり2023青森」へTATを招待し、副総裁をトップとする6名が東北を訪れました。

6月17日（土）は、メイン会場（青い海公園）において、東北絆まつり展示やステージイベントの観覧をしながら、東北6市の祭りや郷土芸能が紹介された他、東北絆まつりパレードでは東観推職員による解説のもと、東北6県の祭りを視察していただきました。TATの来訪者からは、「東北の魅力が一度に味わうことができる素晴らしいイベント」「東北での取組みを本国でも報告し、今後のプロモーションの参考にしたい」といった発言があるなど、東北の祭りの魅力を実感していただくことができました。

また、6月18日（日）には、宮城県へ移動し、松島と仙台城址の視察をしました。「いずれも写真映える箇所が複数あり素晴らしい」「タイ人観光客にとっても人気の出そうなスポットである」といった評価をいただくとともに、「様々な時期に積極的にインフルエンサーを呼んでPRしてほしい」といった提案も挙がりました。

本事業を通じては、各地においてTATと自治体や観光関係団体の関係者との面会も行われ、今後のタイと東北の連携に向けた活発な意見交換が行われました。タイから東北への定期便回復を目指す中では、タイからのインバウンドに加え、東北からタイへのアウトバウンドの送客も重要となります。今後も機会を捉えてTATとの連携による相互交流の促進を図ってまいります。



【パレードの視察】

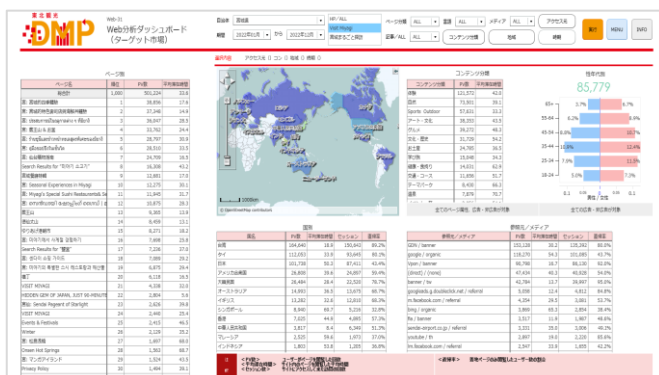


【仙台城址の視察】

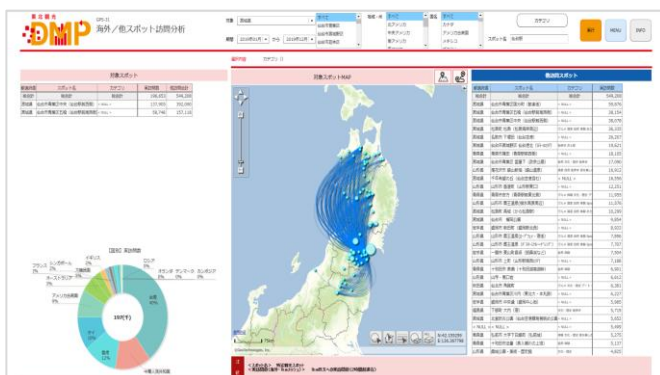
宮城県知事へDMPデモンストレーション（6月15日）

宮城県経済商工観光部観光プロモーション推進室からの依頼を受けて、宮城県知事へ東北観光DMPのデモンストレーションを行いました。当日は東北観光DMPの実際の画面をスクリーンに投影し操作を交えながら、宮城県の公式HPである「VISIT MIYAGI」を対象としたWEB分析や海外動態の分析について、1年あるいは季節ごとに比較した場合、国籍別でPV数や来訪数に違いがあることを説明し、東北観光DMPを今後の観光施策に活用していただきたい旨お伝えしました。説明の際、宮城県知事からその都度ご質問をいただく等、東北観光DMPに対して高い興味・関心を示していただきました。

今後も自治体と連携し、東北観光DMPを各種観光施策に活用してもらえるよう取り組みを進めてまいります。



【Web分析】



【海外動態分析】

仙台＝台南チャーターを利用した台湾プロモーション（6月26日～30日）

仙台＝台南チャーター便の就航を契機とし、仙台市・山形市等関係者とともに台湾・台南市および台北市を訪問し、台南市政府・台南市旅行商業同業公会・航空会社訪問台南市で開催されたBtoB商談会へ参加しました。

6月29日（木）に実施したエバー航空・スターラックス航空・タイガーエア台湾への訪問では、訪問団とともに現在の仙台路線の状況についてヒアリングすることに加え、東観推から12月に台北市で開催予定の東北PRイベント「日本東北遊楽日」についての参加依頼や仙台空港を起点とした台湾人観光客の東北域内の流動についての説明など、今後の路線維持・増便について活発な意見交換が行われました。

また、6月28日（水）には、台南市で開催されたBtoB商談会へ東観推として出席を行い、合計10社の現地旅行会社との商談を行いました。ほとんどが台南市所在で東北の商品を造成していない会社であったことから、東北の基礎的な情報を中心に説明を実施し、今後の商品造成を促進しました。

東観推の重点市場である台湾に対しては、引き続き各連携先と協力しながら、イベントやセミナー・商談会の開催等を通じ東北への来訪を促進してまいります。



【航空会社訪問】



【台南市でのBtoB商談会】

東北域内DMO会議を開催しました（6月29日）

東北域内の地域DMO・地域連携DMOが一堂に会し、同じ戦略の下での連携を図ることを目的とした「東北域内DMO会議」をハイブリッド方式で開催しました。

リアル参加が47名、オンライン参加が34名の計81名と多くの方にご参加いただきました。

会議では、東観推から2023年度事業方針、大阪・関西万博への取組の説明、あわせて東北運輸局から情報共有いただきました。

また、各DMOの方から様々な意見、質問もあり、活発な議論が交わされ、有意義な会議となりました。



【会議の様子】

第8期フェニックス塾入塾式を開催しました（6月19日）

宮城県仙台市ホテルメトロポリタン仙台において、第8期フェニックス塾の入塾式を開催し、50名が入塾しました。

入塾式では、初めに松木会長より「フェニックス塾の活動を通じて、『オール東北』の視点で地域活性化の企画・実践を行う観光のスペシャリストの力を身につけて、今後更に活躍されることを大いに期待している」と激励の挨拶を行いました。

その後、松木会長より塾生代表の一般社団法人Clan PEONY津軽の三浦至学さんへ入塾証書を授与し、塾生代表として三浦さんから活動内容やフェニックス塾参加に対する意気込みを発表していただきました。

続いて紺野理事長が「東北観光推進機構の取組み」と題し、東北の現状と東観推の取組みを説明しました。

フェニックス塾は、今年度も東北6県と新潟で開催するセミナーとワークショップを通し、オール東北の観点から東北の観光振興策を企画・立案する構想力と実行する行動力を持った人材を育成のための活動を実施してまいります。



【入塾式に臨む第8期生】

新潟県観光ファンづくり推進協議会にてWEB発表を行いました（6月15日）

オンライン形式で開催された令和5年度 新潟県観光ファンづくり推進協議会総会に出席し、教育旅行とデジタルマーケティングについてWEB発表を行いました。

新型コロナが5類感染症に移行した後の教育旅行マーケットの動向や、東北観光DMPの活用事例についてデータを基に紹介し、教育旅行誘致のポイント、DMPを導入したデジタルマーケティング事業、CRMの取り組みを紹介いたしました。この発表を契機として、教育旅行はもとより、DX施策においても情報共有や連携強化に努めてまいります。

山形県教育旅行誘致協議会通常総会に参加しました（6月15日）

山形国際ホテルで行われた山形県教育旅行誘致協議会通常総会に参加しました。

同会議に東観推が出席するのは今回が初めてであり、直接情報収集ができた他、県内の教育旅行関係団体・民間事業者の代表者等トップの方々と顔を合わせて情報交換をさせていただきました。

今後も引き続き、各県との連携を深め、教育旅行誘致の促進につなげていきます。



【総会の様子】

第1回東北教育旅行誘致部会および担当者会議を開催しました（6月16日）

2023年度第1回東北教育旅行誘致部会をオンライン開催いたしました。7月～9月にかけて全国主要5都市で開催する東北教育旅行商談会や教育旅行オンラインセミナー、教職員を対象とした現地視察旅行の実施計画について東観推より説明した他、東北各県の教育旅行誘致計画について共有いたしました。

誘致部会の後は、教育旅行を担当する行政担当者との会議を行い、各県が協力して整理した農泊リストやスキー場リストを最新の情報にアップデートする取り組みや、教育旅行誘致に有効な助成金施策について意見を交わしました。



【オンライン会議の様子】

あきた広域観光誘客推進協議会に出席しました（6月21日）

秋田県のエデュケーション旅行誘致に取り組む、あきた広域観光誘客推進協議会に出席しました。

今年度の秋田県のエデュケーション旅行誘致計画を共有した他、東観推が主催する教育旅行セミナーなどの誘致活動を説明し、連携を依頼しました。新型コロナ5類移行、インバウンド急回復、旅行費用高額化といった、教育旅行マーケットを取り巻く環境が大きく変化する中、今後の教育旅行の見通しや誘致事例についても意見交換しました。冬の東北誘致部会やフェニックスアワード受賞の事業など、東観推と連携した取り組みの共有もあり、あらためて連携の重要性を認識しました。



【協議会の様子】

第2回訪日プロモーション担当者会議（オンライン）を開催しました（6月23日）

東北6県・新潟県・仙台市の訪日プロモーション担当者と共に会議を開催しました。この会議は東観推と各行政の担当者間における情報共有と活発な意見交換を目的に2か月に1度実施しています。

第2回目となる今回は、2023年度訪日プロモーション事業進捗共有（台湾・タイ・中国・韓国・東南アジア・香港・欧米・豪州事業）や2024年度連携に向けた調整・スケジュール共有および検討事項について意見交換を行いました。また、今年度の台湾現地イベント「日本東北遊楽日」は12月9日（土）・10日（日）に開催する予定で、引き続き、各行政に対して開催へ向けた調整を依頼しました。

次回の会議は8月を予定しており、今年度の事業を計画的に遂行し、かつ効果的なプロモーションができるようしっかりと連携を図ってまいります。



【今年度の実施事業説明（豪州）】

Base! TOHOKU 参画旅行会社説明会（6月16日） および いわき湯本温泉郷訪問（6月26日、28日）



【参画旅行会社説明会】

「ロングステイといえば東北」のブランド化を進めるBase! TOHOKU 事業に参画いただいている旅行会社・OTAに対し、事業説明会を行いました。当日は、ハイブリッド方式で開催し、旅行会社の代表者や商品造成担当者など11社32名にご参加いただきました。

説明会では、東観推から2022年度事業報告、2023年度事業説明ならびに商品造成の協力依頼を行いました。旅行会社・OTAの方から様々なご意見・ご質問もあり、今後の課題を共有する貴重な場となりました。



【参画旅行会社説明会の様子】

【いわき湯本温泉郷訪問】

今年度新たにBase! TOHOKU 実証モデル地域となる福島県のいわき湯本温泉郷の各宿泊施設に向けて、事業ご参画を依頼する目的からBase! TOHOKU 事業の説明を行いました。多くの宿泊施設にご参画いただけるよう委託事業者と共に細やかな事業進行に努めてまいります。

Base! TOHOKU 事業も3年目を迎えますが、引き続き旅行会社・OTAや地域の皆様との連携を強化し、地域への誘客を促進していきます。



【いわき湯本温泉旅館共同組合訪問の様子】

第1回東北観光DMPおよびデジプロ担当者会議を開催しました（6月27日）

東北観光DMP参入自治体（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県、仙台市）のDMP担当者およびデジタルプロモーション担当者を対象とした合同会議をハイブリッド方式で開催しました。

4月の人事異動で各自治体のDMP担当者の多くが変更になったこともあり、第1部では、東北観光DMPの概要、基本操作を中心に説明しました。第2部では東観推および各県市が実施するデジタルプロモーションに関する情報交換や、東北観光DMPを活用したHP、SNS分析方法を紹介しました。

そして、第3部では今年度より東北域内のDMO・観光協会への利用拡大に向けた事務処理の流れ等について意見交換を行いました。

今後も担当者間の連携を密にし、東北観光DMPを活用した各種プロモーションを展開してまいります。



【セミナーの様子】

国内外に向けてSNSで東北の観光情報を発信しています

東観推ではFacebookやInstagram、Weiboを活用して日本国内および海外に向けて観光情報を発信しています。6月は各SNSともに、男鹿地域や福島市周辺のコンテンツについて紹介した他、8月に開催される青森ねぶた祭の情報などの発信を行いました。中でも、雲昌寺に関する投稿は各SNSともに非常に多くの方に反応いただくなど、国内外からの関心の高さが伺えました。

そして、日本語のFacebook、Instagramでは「#東北PR局」のハッシュタグが付いた投稿を紹介しています。皆さまぜひ、「#東北PR局」を付けて東北の魅力を発信してください！

	【東北の観光・旅行情報サイト 旅東北】 https://www.tohokukanko.jp/	
	【Facebook (Tohoku Tourism) 英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook (Tohoku for Muslims) ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook (旅東北 東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Instagram (tohokutourism) 英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism/?hl=ja	
	【Instagram (東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_hk/?hl=ja	
	【Instagram (【公式】東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	
	【Weibo (日本東北玩楽GO)】 https://weibo.com/lvdongbei	



【雲昌寺】



【青森ねぶた祭】



【「#東北PR局」の投稿例
八幡平ドラゴンアイ】

TravMedia「東北プレスセンター」から6月の発信を紹介します

東観推では、多くの有力メディアが情報収集の場として利用しているTravMediaにて、英・米・仏市場を中心に「東北プレスセンター」として情報発信を行っています。

6月は東北の夏祭りのうち、青森ねぶた祭りをテーマに「Feel the Spirit of Summer at the Aomori Nebuta Festival in Tohoku, Japan」として発信を行いました。

記事では青森ねぶた祭りの概要はもちろん、祭りの起源や制作過程について紹介しました。

さらに、一年を通じてねぶたを楽しむことのできる施設として「ねぶたの家 ワ・ラッセ」についても紹介することで、ねぶたの魅力を海外に発信しました。

今後も東北の季節感豊かな風景の紹介など海外メディアへの情報発信を継続し、東北が魅力的な訪問地であることを世界に印象付けられるよう、広域での効果的な情報発信に取り組んでまいります。



【青森ねぶたの紹介記事】

東観推人事異動のお知らせ

東北観光推進機構の推進本部において人事異動がございましたのでお知らせいたします。

＜転出6月30日付＞

- ・推進本部長 澤田博之（東日本旅客鉄道へ帰任）
- ・東北ブランド戦略部アシスタントマネージャー 尾崎雅彦（日本航空へ帰任）
- ・総務渉外部チーフ 佐々木達彦（東北電力へ帰任）

＜転入7月1日付＞

- ・推進本部長 渡辺厚（東日本旅客鉄道より派遣）
- ・総務渉外部チーフ 高橋舜（東北電力より派遣）
- ・市場戦略部チーフ 丸山真沙人（東日本高速道路より派遣）

＜推進本部内異動 7月1日付＞

- ・総務渉外部担当部長 河野謙一郎（総務渉外部統括マネージャー）
- ・市場戦略部担当部長 高橋雄二（市場戦略部統括マネージャー）
- ・市場戦略部統括マネージャー 雨田吉浩（市場戦略部アシスタントマネージャー）

TOHOKU Fan Club 活用について

●TOHOKU Fan Clubで情報を発信してみませんか？

TOHOKU Fan Clubの会員へ地域のイベント情報を発信したり、アンケートの依頼、モニターツアー参加の呼びかけ等をしていませんか？アンケートは、ターゲットを絞って回答を依頼することもでき、結果を効果的なマーケティングデータとして活用することができます。アンケートの実施、情報発信、モニタープランの参加呼びかけ等を連動させることで、地域への誘客を今まで以上に促進させてみてはいかがでしょうか。

投稿とオファーについては、東観推の会員区分に応じて、一定回数無料でご利用いただけます。

詳しくはお問い合わせください。



	① 投稿	② アンケート ※4月1日から料金を改定しています	③ オファー
区分	ファンへの情報発信 (≒Facebook)	ファンが回答するもの	ファンが申し込むもの または、ファン限定の情報
活用例	おすすめ情報、お得な情報 (例) お祭り・イベント開催予告 新規観光施設のオープン 桜・紅葉の見ごろ情報 等	ファンに聞きたい内容 (例) コンテンツ作成前のテスト マーケティング・認知度調査 等	ファンへの参加や購入の呼びかけ (例) モニターツアー参加者募集 セミナー参加者募集 ファン限定プラン販売 等
利用料	<会員特典> 正会員 : 3回まで無料 賛助会員 : 1回まで無料	10問まで	<会員特典> 正会員 : 3回まで無料 賛助会員 : 1回まで無料
		30問まで	
		15万円 + ポイント原資	
		35万円 + ポイント原資	

【お問い合わせ先】東北ブランド戦略部 E-mail brand@tohokutourism.jp

【6/28 繁体字での投稿
「秋田・男鹿半島」】

「旅東北NEWS」VOL.058 2023年7月13日発行
【発行】一般社団法人東北観光推進機構
仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階
【TEL】022-721-1291【FAX】022-721-1293
【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook
東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！
<https://www.facebook.com/tohokukanko/>
「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！